

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

需要喚起でかえって景気悪化の可能性も 柳川 範之（東京大学大学院教授）

1. 従来、景気対策は、金利を引き下げて投資需要を喚起することだったり、交付金などによって消費を増やすことだったり、公共事業などによって公共投資を増やすことだったり、総需要刺激策とほぼ同義で使われてきた。しかし、このようなロジックが成り立つのは、供給サイドに余裕があり、増えた需要に対して、供給できるだけの製品が十分にある場合の話である。
2. 製品がなければ、重要がいくら増えたところで、売り上げ増にはつながらない。マクロ経済全体でみても、供給制約の下では、総供給が増えなければ、総需要が増えてもGDPの増加にはつながらない。現在、日本では人手不足など、総供給の制約が問題になっている。そのため、労働供給を増やす政策や、同じ労働人口でも、より付加価値を高くするような研究開発支援など、供給力を引き上げる政策が、重要になっている。
3. つまり、景気をよくしようと考えた総需要喚起策が、ますます総供給力を低下させ、結果として景気を悪化させることになりかねない。
(参考：「週刊東洋経済」2025年1月25日号)

経営者のための営業学

シャトレーゼの安さを支えるロボ

1. 菓子大手シャトレーゼ（山梨県甲府市）では2024年、国内外の店舗数が1000店を超えた。原材料費、人件費が高騰する中でも手ごろな価格が実現し、成長を続ける背景には協働ロボットの存在がある。こうした動きを受けて、ロボメーカーも食品分野への展開に力を入れ始めている。
2. 1954年、今川焼き風の「甘太郎」という独自の商品を販売する、よくある地方の「お菓子屋さん」として創業したシャトレーゼ。現在は洋菓子や和菓子だけでなく、ワイナリーやホテル、ゴルフ場まで幅広く手掛ける。
3. 店舗網の急拡大に伴い、2022年ごろから製造ラインへの協働ロボ導入計画が持ち上がった。本社のそばにロボティクスセンターを立ち上げ、ロボ工学を学んだ人材の採用を開始。自前でシステムを構築できる体制を整えた。自動化の推進によって、ある商品の製造ラインでは人件費比率は半分にまで低減することに成功した。

(参考：「日経ビジネス」2025年1月13日号)

人事労務について

3年後予測される業界別年収

1. 33年ぶりの高賃金に日経平均株価の最高値更新。2024年は年収と株価が記録的にアップした1年だった。そこで3年後の予測年収を独自試算した。業界別の結果を見ていくと、高年収で知られるテレビ局などが属する通信・メディア業界の平均予測年収が1000万円とトップだった。タダシ年収平均増加率はマイナス0.39%との予想で、斜陽産業化が進むメディア業界の苦境を反映する結果となった。
2. 平均予測年収が2位は医薬品業界で907.8万円。3位は銀行業界で886.9万円、日銀利上げによる金利収入増など今後も増益が見込まれ、年収増加率も0.24%と他業界よりも相対的に高く、引き続き勝ち組といえそうだ。
3. 年収水準は低い（605.1万円）ものの増加率が1.38%と最も高かった外食業界は、人手不足に伴う賃上げを迫られる環境が浮き彫りになった。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2025年2月8日・15日号)

古典に学ぶ

芽吹きのは、誰にでも必ず訪れる

1. 空海自身、若き日に大学を中退し、いったんメインストリートからドロップアウトしましたが、仏教を究めたいと懸命に努力し、遣唐使となるチャンスを掴みました。
2. 今、芽が出ないからといってくさる必要はありません。世は常に移り変わっています。心の持ちよう努力次第で、自分という木を芽吹かせ、花を咲かせられます。その花は、多くの人の心を癒し、喜ばせることができるでしょう。

(参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社)